

# 「道徳のまち笠松」にこめる願い

道徳のまち笠松委員会

急速に変化発展する社会の中で、人として地域としてのあり方を見直し、これまで笠松で育まれてきた歴史や伝統を受け継ぎ、さらに住みよい誇りのもてるまちづくりをめざします。

## ○町民の道徳心でまちづくり

- ・日本の社会では、耐震強度偽装に始まり、さまざまな問題が指摘されています。こうした問題の根幹は**大人の心の問題**とりわけ**道徳性・道徳心**にかかわるものです。
- ・今日の社会に必要な道徳的価値“**共生と人間尊重**”を、みんなで今一度確かめ合います。
- ・道徳といえば青少年の道徳性を高めることだと考えがちですが、笠松では「道徳のまちづくり条例」を制定し、**すべての町民にかかわる課題**として考えます。
- ・道徳性やマナー・ルールを大切にすることを養い、町の基盤となる**人の力を高め**ます。



笠松町は、かつて木曾川の川湊を中心とする政治・経済・商工業のまちとしての歴史と伝統をもち、道徳教育にも力を入れきました。この歴史や伝統は私たち町民

の誇りとしているところです。

「道徳のまち笠松」では、この笠松のよさを受け継ぎ人の心を大切に、信頼感に満ち、外部から来られた方にも、「共生・人間尊重」の精神を道徳的な風土や雰囲気として感じとっていただけるような個性あるまちをめざします。

道徳のまちづくりには、町民の皆さん一人ひとりが自ら「笠松人のこころ」を意識し行動しようとする姿勢が大切です。全町民がひとつになって取り組めば、大きな力になります。より存在感のあるまち、信頼されるまち、より住みよいまち、より発展するまちを町民の皆さんと共に築いていきたいと思ひます。

笠松町長 広江正明

## ○“笠松人のこころ”で風土・人を育む

笠松町民憲章の精神を受け継ぎ、「共生」と「人間尊重」にあふれた“道徳的風土の感じられるまち”“次代を担う笠松人が育つまち”をめざし、大切にしたい道徳心を三つあげます。

### “笠松人のこころ”

#### ① 人と人とのつながりをつくる

- ・あいさつ
- ・声かけ
- ・家族のふれあい
- ・もてなす心

#### ② 自ら社会づくりに参加する

- ・ボランティア
- ・地域行事
- ・ふれあい活動
- ・青少年育成

#### ③ 自分も他人も尊重する

- ・マナー
- ・ルール尊重



## ○人と人とのふれあいの中で…

この“笠松人のこころ”は、人と人とのふれあいの中で生かされてこそ、意義あるものとなります。町民の皆さんが、じっくり考え話し合いながら、皆さんの心にもとづく、皆さんの心や体になじむ取り組みとして進めていただけるよう願っています。